

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第53号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 理事(事務局長) 芝 忠

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

Email: zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>**航空宇宙フォーラム関東大会(報告)**

芝 忠

2月2日、ヨコハマインターコンチネンタルホテルで異業種交流・産学連携フォーラムと題して(独)中小企業基盤整備機構の補助事業が開催されました。

これは「まんてんプロジェクト」が主催し、異業種交流協議会(異グ連)の関東甲信越静ブロック大会を兼ねて、同地域の航空宇宙関係中小企業や大学の動きの発表・交流懇親会を行ったものです。

○JAXA((独)宇宙航空研究開発機構)の石塚淳産学官連携部長さんからは、最新の宇宙研究の成果だけでなく、中小企業が宇宙開発にどのような貢献をしているのかや、今後の産学官連携の可能性などの「基調講演」がありました。

○また早稲田大学の長谷部信行理工学術院総合研究所教授からは、大学に新設した航空宇宙工学研究の現状とやはり中小企業との連携の必要性が熱っぽく語られました。

○後半は、神奈川・新潟・長野・埼玉・千葉の中小企業者から具体的なビジネスの取り組み状況が報告され、また東京都から新年度の予算措置の紹介がありました。

13都県(東京・神奈川・新潟・長野・栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・石川・富山・福井・愛知)、約200名の参加で、交流懇親会も大いに盛り上がりました。報告はそれぞれ地域と異業種交流の関係が強調されていたのが印象的です。また神奈川で行われた大会ですが、東京都が行政の立場から、地域の航空宇宙産業育成方針を予算という形で示したことも刺激的でした。

ちょうどテクニカルショウヨコハマ(1月31日～2月2日、パシフィコ展示場)の開催期間中に開いたこともあり、まんてんプロジェクトなどの展示も大いに参考かつ賑やかだったというわけでした。

日本の宇宙研究の最先端と技術開発への挑戦セミナーのご案内

「企業にとってはビジネスチャンスに!」、「学生、一般の方には宇宙開発の最先端技術を!」

に役立つセミナーの案内を、お送りいたします!!

日 時: 2007年02月27日(火) 13:00~17:00

場 所: 横浜国際ホテル 〒220-0005 横浜市西区南幸2-16-28 tel045-311-1311

参加費: 無料(先着150名)

主 催: 内藤技術振興財団、神奈川異グ連まんてんプロジェクト

内 容: 詳細は添付チラシをご覧ください

基調講演: 「宇宙の謎と研究の最先端」 宇宙開発機構 センター長 的川泰宣教授

パネルディスカッション: 日本の宇宙研究の最先端と技術開発への挑戦

申込・問合せ: 氏名、所属団体、住所、電話番号を下記へお寄せください。

まんてんプロジェクト事務局 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-264-8551 Email info@jaspa.co.jp

産学官交流サロンのコーナー**神奈川新産学交流サロン(合同)開催案内**

日 時: H19年02月17日(土) 18:00~

場 所: 横浜にぎわい座小ホール 会費: 2000円

テーマ: ヨコハマ野毛にエール!! 極寒の地、北海道からのメッセージ

硬く言うと: 神奈川新産学交流サロン(年1回の合同サロン: 横浜、川崎、横須賀、小田原) 本音で言うと: 北海道帯広の屋台村から、”よこはま野毛”に活を入れる!!

スピーカー: 坂本和昭氏(北の起業広場協同組合専務理事)

連絡・問合せ: T045-633-5142 F045-633-5194 芝、池谷、杉本、織方

おなじみ尾上町サロン

例会日を2月のみ第一・第三金曜日から第二・第四金曜日に**変更**しました。

日 時: 毎月第一・三金曜日(2月23日、3月2日、16日)

3月16日は産学連携シンポと合同開催

場 所: 神奈川中小企業センター5F 産業交流プラザ

連絡問合せ: 芝、八幡、島津龍、鈴木

第18回横須賀サロンの報告

八幡理事

1月18日開催された当サロンでは、地元の発明家2人を迎えて、発明のきっかけから商品化への苦労と販売の悩みについて、現物を確かめながら説明を受け、活発な意見が交わされました。

三浦の谷さんからは「**マグロ延縄**」を応用した**巧みな結び方**による技と、長井の電幸社から**新築建物の電源ボックスの位置を瞬時に確実に切り出す道具**の実演に感嘆しきりで、いろいろな世界のあることを認識させられました。次回は3月下旬です。
連絡問合せ:八幡 045-633-5142, 鶴野 046-836-6785

第17回川崎サロンの報告

広報

1月16日KSP取締役(横浜国大客員教授)志茂 武氏より**大学高等教育(大学院)の実態～横浜国立大学VBLの試み～**と題し、ポスドクなど大学に埋もれている知的人材の社会的活用策の試みについてお話いただき、意見を交換しました。

なお、当日の議論を基に、下記産学連携シンポジウム「**産学連携人材育成: インターンシップ状況報告会**」が開催されます。

連絡問合せ: T045-633-5142 F045-633-5194 芝

産学連携シンポジウム「産学連携人材育成: インターンシップ報告会」

日時: H19年03月16日(金) 14:30～17:00 終了後懇親会開催

場所: 神奈川中小企業センター13階 第2会議室 参加費: 無料(懇親会は1000円)

主催: 横浜国立大学VBL(ベンチャービジネスラボラトリー) 共催: 神奈川県異業種グループ連絡会議

内容要旨: ○横浜国大VBLのインターンシップ実施状況 横浜国立大学客員教授(KSP取締役)志茂 武氏

○インターンシップ体験学生、受け入れ企業の報告、企業からの課題提起 等

問合せ申込: 氏名、企業名、連絡先をFAX045-339-4289横浜国大VBL事務局へ

第6回西湘サロンの報告

島津俊之BC

今回のサロンでは、「**小田原おでん**」仕掛け人の老舗かまぼこ業者「丸う田代」5代目社長・田代勇生氏にお話を伺いました。その興味深い内容の要旨を報告します。

食文化の多様化や、安い外国産などに押され、かまぼこの消費量が減少傾向にあることに危機感を持ち、おでん屋が市内に数軒しかないことを逆にとり、仲間の業者や農協などと「小田原おでん会」を発足させました。2003年より毎年10月におでん祭りを開催し、2005年3月には青森から沖縄までのグループを招いて「第1回全国おでんサミット」を開催しています。今年は**第3回全国おでんサミットを3月31日(土)～4月1日(日)**に開催します。

2006年4月には「ご縁満開本舗」を設立し、「おでんカー」による営業開始、おでんセットの販売開始、2006年11月には「小田原おでん本店」を開業、さらに「小田原おでんかわら版」の発行も行うなど、拡販に務めています。

地域ブランドとして定評の「**小田原かまぼこ**」と並び「**小田原おでん**」を日本全国から世界へと発信中です。

次回第7回は日時: H19年03月12日(月) 18:00～20:00 場所: あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F

話題: 堀内ウッドクラフト 堀内良一社長「小児看護用支援ツールの開発と事業展開」

小田原女子短期大学 惣田智子教授「食育をめぐる動向」 会費: 1,000円(ビールとおつまみ付き)

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**テクニカルショウヨコハマ2007出展**

芝 忠

神奈川県最大の工業技術・製品総合見本市である第28回工業技術見本市(テクニカルショウヨコハマ2007)は、1月31日(水)～2月2日(金)の3日間、パシフィコ横浜展示ホールで開催され、期間中31,085人の参観、308社・団体、375小間でした。

出展企業・団体数は最大規模でした。異グ連関係は、異グ連及びC&Sグループの他、まんでんプロジェクトとシフト21が展示しました。また石川県が、異グ連の紹介で昨年に引き続き展示したのが目立ちました。

展示技術は年々整備され、異グ連も来年から新たな取り組みをしたいと思えます。

第11回国際交流支援協議会

岡田会員

今年も海外留学セミナーを下記にて行う事となりました。

日時: 3月1日(木) 18:00～19:30 (17:45受付)

場所: JICA横浜セミナールーム

対象: アメリカ大学進学希望者とその保護者

内容: アメリカの試験制度、合格前後の手続き、米国の学生生活体験談

参加費: 無料

問合せ申込: 国際交流支援協議会 TEL: 045-222-6205

e-mail: ycrc@ies-world.com 加藤めぐみ

まんてんプロジェクト最近の話題

千田BC

●2月2日、横浜グランドインターコンチネンタルホテルにて、「異業種交流・産学連携フォーラム」を、(独)中小企業基盤整備機構とまんてんプロジェクトが共催し「航空宇宙」をテーマに関東一円の中小企業、大学、行政に呼びかけ開催した。参加は、13都県から180名と非常な盛況であった。

JAXA、早稲田大学からは中小企業との連携による航空宇宙開発取組の強化や積極的な支援計画、東京都からは19年度から開始する航空宇宙産業に係る中小企業支援策の発表があった。また神奈川、新潟、長野、埼玉、千葉の中小企業から取組みの現状に関する事例報告発表があった。

まんてんプロジェクトでは平成17年度から、全国の航空宇宙関係者に呼びかけ広域連携を図るシンポジウムを開催してきたが、回を追って盛況になっており今回の第三回は非常に充実した内容であった。

●1/31～2/2に開催された「テクニカルショウよこはま2007」に出展した。まんてん企業15社が製品や技術の共同展示を行った。

●異グ連が関東学院大学から受託している航空宇宙産業研究は手紙ベースのアンケート調査と研究会委員による訪問ヒアリング調査がほぼ終了し、まとめの段階に入った。

●早稲田大学との連携による航空宇宙研究は、天文学物理学研究用衛星の開発や地上観測用無人飛行機開発などのアイデアが出ており具体化を検討中である。

●まんてんメンバーの水上飛行機開発事業協同組合が研究開発している高性能フロートは、東大、横浜国大、日大、(社)強化プラスチック協会との連携により開発が進み商品化の目処がついた。4月にも公開発表を行い、早ければ本年秋から販売開始をする計画である。

第71回日韓ビジネス協議会開催案内高橋BC 045-311-0094 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

日時：2月21日(水) 定例会 15:15～17:15 懇親会 17:15～18:15

場所：神奈川中小企業センタービル 5階 会議室

- 内容：(1)日本企業紹介/株式会社アイ・シー・ジー・ビー/「JOGIDEN」(助技伝)5軸対応!プレスブレーキ用バックゲージコントローラー・・・代表取締役 本田 八登三氏(30分程度)
- (2)最近の「まんてんプロジェクト」の動向・・・異グ連・交流アドバイザー 児玉英二氏(20分程度)
- (3)第28回工業技術見本市 テクニカルショウ ヨコハマ2007の報告・・・事務局(10分程度)
- (4)基調講演：新製品・「自動車の後方安全確認システム」・「ARGUS」の開発経過、製品説明、苦労話など・・・株式会社アトム技研 西村 勲氏(45分程度)

三浦海洋深層水を楽しむ会

八幡理事

諸々の事情から昨年後半は休業していた当会は、久しぶりに新春慣例の油壺観潮荘で、1月27日(土)開催された。

当日はNPO日本海洋深層水協会や三浦DSW社長が出席され20名の参加となり、予定した資料が行き渡らぬ嬉しい悲鳴となった。

難題多数のため時間が超過し、会食は出来たが、その後の海洋深層水風呂に入れなかった人が出る始末で、もっと会合の頻度を上げねばという反省を土産として解散した。

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。先日開催されたテクニカルショウヨコハマ2007ではブース出展し、会員企業の紹介を中心に会のアピールをいたしました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

2月定例会は2月13日、イメージコンサルタント川上雅子氏に「経営者のイメージ戦略～センスアップ・カラー・セミナー」と題してお話いただきました。経営者自身のイメージアップの重要性について実践的に学びました。

3月定例会は3月13日に「ロボット最新事情 ～ 企業経営や生活はどう変化しているか」と題して、株式会社テクノロード代表取締役 杉浦 登氏にお話いただきます。杉浦様は先端のロボット制御設計やロボット教育に携わっていらっしゃいます。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(hda00467@nifty.com)

関連イベントのお知らせ!!

! 2007全国異業種交流・新連携フェア! 主催:(財)中小企業異業種交流財団、(独)中小企業基盤整備機構

日時:H19年2月28日(水)～3月1日(木)10:00～17:00 会場:東京都立産業貿易センター

基調講演とパネルディスカッション第一日:「町工場のもの作り人づくり」、第二日:「女性経営者と異業種交流」

問合せ申込:(財)中小企業異業種交流財団T03-3584-0707 F03-3584-6122 <http://www.igyoshu-fdn.or.jp/h18plaza/>

かながわ21世紀ビジネスフォーラム**～快進撃中小企業の秘密はこれだ～**

元気な企業の元気たる所以が聞くことが出来ます。

日時:H19年3月26日(月)14:00～17:00

場所:神奈川県民ホール

内容:基調講演「目指すべき中小企業像」

静岡文化芸術大学文化政策学部教授 坂本光司氏

パネルディスカッション

参加費:無料(交流会参加者は3000円)

問合せ申込:神奈川県中小企業団体中央会

TEL045-633-5132 Fax045-633-5139

かながわコンソーシアム事業2006報告会

H18年度「新製造技術」「環境」「医療・福祉」「情報通信」の4分野の事業成果の報告会が開催されます。

日時:H19年03月13日(火)13:30～19:00

場所:神奈川中小企業センター14F

内容:基調講演「連携・組織化による新事業創造と経営革新」

明治大学政治経済学部 教授 森下 正氏

報告会(4分野19企業の成果報告)

参加費:無料(交流会参加者は2000円)

問合せ申込:神奈川中小企業センター交流支援課

TEL 045-633-5192 FAX 045-633-5194

H18年度中小・ベンチャー企業等知的財産権セミナー

日 時:平成19年2月23日(木)14:00～17:00 **参加費:**無料

会 場:神奈川中小企業センター13階 第二会議室 **定 員:**40名(事前申込による先着順)

内 容:中小企業経営における知的財産総論～企業経営における知的財産の効果的活用法～

むつみ国際特許事務所 所長(弁理士) 野口 武男氏

問合せ:財団法人 経済産業調査会事業部 03-3535-4881

申 込:(財)神奈川中小企業センター企業化支援部交流支援課 FAX045-633-5194

誌上討論 新年号で「想定内(外)について考える」村上先生を、お送りしました。文中で社会・共産党の面々は將軍様のテポドンが日本に飛んでくるとは想定していないのでは?との問題提起があり、芝忠理事からのこれへの反論です。酔拳と真拳のディベート戦の感があり、大変興味深いですね。皆さんもぜひ誌上討論へ参加してください!!

北朝鮮問題について

芝 忠

前号で村上嘉男C&S会長が「想定外」の話題として北朝鮮の核武装問題で、社会・共産党云々とした問題提起がありました。私は日本国憲法第9条「戦争放棄」の項目に賛同する立場から考察してみたい。

まず現在の軍事技術では、日本海程度の近接距離でミサイルによる核爆弾を打ち上げた場合、破壊するのが困難だと言われています。従って米軍といえども日本防御はできないでしょう。次に日本に駐留する米軍は日本人や日本民族を守るために駐留しているのではなく、紛れもなく米国本土や米国人を守る為に駐留している筈。従って米国の核の傘といわれているものは、あくまで米国の国益に沿った日本国民の行動があるときのみ有効であり、もし米国民と日本国民との間に利害が対立した際には核の傘論は崩壊します。従って日本国民を北朝鮮の核攻撃から守ためには、6カ国協議や国連その他世界の世論に訴えて、核武装の危険性(核には核の反作用がある)や無意味さを説得し、放棄させる道を選択させる以外にありません。さらに日本国憲法第9条の価値は現在世界的に評価、注目されています。アフガニスタンその他の各地での日本人の決死的活躍の成果が、「日本は戦争しない国」あるいは過去「ユダヤ人を排斥したことがない国」「イスラムを禁止しない国」としての絶大なる評価を受けていることも預かっていると指摘されています。

憲法9条を変えて、積極的に海外に軍事進出することは、日本国民の安全を確保することには繋がらず、皮肉にも却って日本国民を危うくする道に転落すると私は考えます。国の価値は必ずしも軍事力だけでなく、経済力や国民の豊さ、世界に通用する外交力、他国を納得させる自主性や合理性、とりわけ国内の民主主義の発展など、ミサイル撃滅技術だけで判断するのは狭小でしょう。

(賛成意見、反論など大歓迎です!!お寄せください!)

<編集室> 毎年1月から2月は一番多忙の時期で、異グ連ニュースの発行も遅れてしまいました。

いつも原稿収集で苦勞するが、今回は幸なことに多数集まり、次号へ回させていただくものも出た。新年号に載せた井上誠一先生の「より良い人間社会のために」(前半)の続編は3月号で紹介させていただきます。また島津龍男先生の「異業種交流関連論文集」も入手しているので、順次紹介していきたい。芝忠理事の「酒断ち6ヶ月」ようやくまともになってきた(御免!)氏の小文も来月にお目に掛けたい。乞うご期待!!

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当)mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel,045-633-5142 fax,045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本へ